

# 平成 31・令和元（2019）年度 事業 報告 書

特定非営利活動法人 シャーロックホームズ

## 1 事業の成果

青少年健全育成の推進に関しては、まず放課後児童健全育成事業「放課後キッズクラブ」の運営について、上菅田小学校と笹山小学校の令和2年4月統合に向け、横浜市・保土ヶ谷区・学校等と協議しながら準備を進めた。校舎建て替え工事で活動場所は狭くなるが、総登録児童数は今より確実に増加することとなる。「上菅田小キッズ」を3月末で閉所し、新しく4月1日からすぐに「上菅田笹の丘小キッズ」が滞りなく開所できるよう、あらゆる準備を行った。児童や保護者への説明会、備品発注や入退館システムの導入と試行、膨大な引越準備作業。3月からは「笹山小はまっこ」のスタッフも加入し、両校の児童が分け隔てなく、安心して利用してもらえるよう、スタッフ研修会や運営手順の確認等を行った。令和2年4月からいよいよ3年間、仮校舎での運営となるので、運営方法についてはもちろん、令和5年4月からの新校舎完成後の運営権についても現場のこれまでの努力を配慮いただけるよう、区や市と協議していきたい。

他のキッズ3校については、利用実績は増加傾向にある。また今年度も引き続きスタッフが長く働いてもらえるような環境整備に努め、現場の努力・工夫の積み重ねで学校や地域とのつながりもより良いものとなり、安定した運営となった。

2020年3月より、新型コロナウイルス対策として区分2の児童のみを受け入れる体制となり、現場では年度代わりの作業も大変な中、感染防止対策（消毒やマスク着用、児童の密度を下げる工夫、スタッフのシフトの調整等）を求められ、混乱の中、対応を迫られる毎日である。

事務上の課題としては、毎年のように補助金様式等が目まぐるしく変わり、必要とされる書類も大量で、当該業務に対する相当な習熟度が求められている。逆に、各区の担当者は2.3年で異動となる中、引継ぎが細やかになされていない場合も多く、こちらからもできるだけ経緯に沿って情報提供し、お互いに負担が少なくなるような改善提案に努めている。新型コロナ対策の消耗品・備品等の手配・申請等も、本部でバタバタと行うこととなったが、依然、本部経費を予算に計上できない状況に疑問を感じている。

次に子どもの社会参加推進事業に関しては、2012年度から2018年度までの7年間を神奈川県と協働で行ってきた「特命子ども地域アクタープロジェクト」に推進会議メンバーとして参加していたが、昨年度基金の期間が満了し、今年度から「かながわ子どもの地域社会参画推進会議メンバー」として「特命子ども地域アクター」事業の協力を継続した。

子育て支援に関しては、中区の広場内で実施している一時保育のニーズは一段落した感がある一方で、西区の広場の一時保育ニーズは年度後半から著しく増加した。第2子、第3子の生まれた利用者が多くなったため、一時的な増加と考えられるが、一日3組まで、等のルールを見直す必要が出てきた。また、西区・中区ともに、子育て関連施設連絡会や広場連絡会など、地域の関係施設・団体との交流も増え、地域との繋がりも深まっている。地域ぐるみで子育てを支援していこうとする気運が年々高まってきているように思う一方で、支援体制は以前より充実しているはずなのに世間では子育てに関する問題が山積みであることを意識し、私たちが広場の運営を通じて出来ることを模索しながら、より多くの人への周知と利用を促していきたい。また、年度末に生じた新型コロナウイルスの関係で、つどいの広場事業は「不要不急の場」として閉所するように横浜市から通知があり、一時預かり以外の広場運営はしばらくできなくなった。対面でのコミュニケーションを大切に取組んできたが、それをすることができない状況に追い込まれ、子育て支援の新たな形を模索していく必要性に直面している。

一方、広場へ来られない親子への支援については、情報発信事業として継続。商業施設内の「よこはま子育て情報スポット」では、施設との連携を積極的に図り、スポットだけでなく施設全体で子育て支援を考えていく取組みを行っている。令和元年5月26日をもって施設が移転のため閉館となった。7月からの新施設オープンに向けて、横浜市と施設管理者とで協議を進めてきたものの情報スポットの場所の確保が難しかったことから、役割を

縮小する方向に決まってしまったことが残念である。場所が少なくなった分、SNSでの情報発信に力を入れていたこともあり、年度末に新型コロナウイルスの影響で施設が閉館となっても、SNSを活用した情報発信を続けることができたのはよかった。

自主事業である「ベイ★キッズ」プロジェクトでは、今年度も助成金を活用して、メルマガや情報誌の定期発行、読者の交流の場となるイベントを企業協働という形で開催。そして、マガジンの編集を通じて母親の社会参画を促進する仕組みも取り入れ、乳幼児を子育て中の母親の社会参画支援も行うことができた。

行政・企業・市民が協働するために必要な事業については、ダブルケアサポートの事務局として、ダブルケア支援拡充のための役割を担うことができた。

## 2 事業内容

### 特定非営利活動に係る事業

#### ① 青少年健全育成の推進等に関する事業

##### ア 放課後児童健全育成事業（横浜市こども青少年局補助事業）

[内容] 放課後の児童の「遊びの場」「生活の場」「学びの場」の提供

[日時] 月～金（放課後～19:00）、土（8:30～19:00）

[場所] 小学校内キッズルーム他

[従事者人員] 70名（上菅田 26、南太田 15、浅間台 14、本牧 15）※3/31時点

[対象者] 当該実施校に通学する1～6年生で、利用を希望する児童

[夜間利用実績]

- ・南太田：夜間利用児童数 区分① 延べ109人・区分② 延べ417人  
（前年度 区分① 延べ150人・区分② 延べ286人）
- ・上菅田：夜間利用児童数 区分① 延べ313人・区分② 延べ575人  
（前年度 区分① 延べ309人・区分② 延べ383人）
- ・浅間台：夜間利用児童数 区分① 延べ233人 区分②延べ164人  
（前年度 区分① 延べ175人・区分② 延べ112人）
- ・本 牧：夜間利用児童数 区分① 延べ123人・区分② 延べ224人  
（前年度 区分① 延べ91人・区分② 延べ172人）

→夜間利用児童数計：区分① 延べ778人・区分② 延べ1,380人  
（前年度：区分① 延べ725人・区分② 延べ953人）

[支出額]

- ・南太田：25,330,500円 ※内616,437円は補助金戻入  
（前年度：21,637,000円 ※内358,796円は戻入）
  - ・上菅田：26,974,900円 ※内355,769円は戻入  
（前年度：22,611,550円 ※内253,035円は戻入）
  - ・浅間台：17,250,500円 ※内290,413円は戻入  
（前年度：15,992,400円 ※内702,397円は戻入）
  - ・本 牧：16,433,000円 ※内1,074,148円は戻入  
（前年度：15,890,950円 ※内977,333円は戻入）
  - ★上菅田笹の丘（開設費）：800,000円 ※内14,255円は戻入
- 支出合計：86,788,900円 ※内2,351,022円は戻入  
（前年度支出合計：76,131,900円 ※内2,291,561円は戻入）

##### イ 子どもの社会参加推進事業

[内容] 神奈川県特命子ども地域アクター事業の協力。推進会議体への参加。  
アクターの受け入れ（ベイ★キッズ事業）

[日時] 通年

[場所] 横浜市西区南軽井沢18-1-110、イベント会場他

[従事者人員] 2名  
[対象者] 神奈川県在住の小学校高学年～高校生  
[支出額] ベイ★キッズ事業を含む

② 子育て支援の推進等に関する事業

ア つどいの広場に関する事業（横浜市こども青少年局補助事業）

[内容] 子育て中の親子の交流・つどいの場の提供。子育て悩み相談、子育て支援情報の提供。広場利用者向けの一時的預かり事業の実施。

[概要] ・シャーロック BABY 横浜市西区南軽井沢 18-1-110  
ひろば開設：月～木（9:30～16:00）、金（12:00～16:00）  
・シャーロック BABY 本牧 横浜市中区本牧和田 17-17 テラスハウス D  
ひろば開設：月～金（10:00～16:00）

[従事者人員] 16人（西区10人、中区6人）

[対象] 西区、中区及び周辺に住む親子（主に0～3歳）

[通常利用実績] ※2020年3月は新型コロナウイルス感染防止のため市内の全広場が広場機能を休止したため、全体的に利用実績が減少した。

延べ開催日数：432日（西区221日、中区211日）

（前年度475日：西区238日、中区237日）

延べ利用組数：2,834組（西区1,515組、中区1,319組）

（前年度3,420組：西区1,873組、中区1,547組）

延べ利用者数：6,266人（西区3,519人、中区2,747人）

（前年度7,381人：西区4,103人、中区3,278人）

[一時預かり利用実績]

延べ開催日数：333日（西区189日、中区144日）

（前年度336日：西区190日、中区146日）

延べ預り児童数：357人（西区178人、中区179人）

（前年度400人：西区103人、中区297人）

延べ預り時間数：1098.5時間（西区527.5時間、中区571時間）

（前年度1,259時間：西区314時間、中区945時間）

[支出額] 16,003,898円（西区8,153,608円、中区7,850,290円）

（前年度15,947,901円：西区7,901,846円、中区8,046,055円）

イ 子育て支援情報発信に関する事業

a. 横浜子育て情報スポット（横浜市こども青少年局補助事業）

[内容] 遊びついでに立ち寄れる商業施設内の情報スポット。横浜市内全域の子育て支援情報を提供。この情報スポット自体の周知とここに集まってくる情報発信に取り組む。

[日時] ミュージアム営業時間に準ず。

[場所] 横浜アンパンマンこどもミュージアム内

[従事者人員] 8人

[対象] 親子・地域の子育て支援者

[実績] おしゃべりタイムの他、施設内掲示板やソーシャルメディアを活用した情報提供、季節に合わせたミニイベントを開催。

[支出額] 1,300,000円（前年度2,200,000円）

b. 情報配信事業「ベイ★キッズ」（自主事業）

[内容] メルマガや情報紙の発行及びWEBサイトの運用等、様々なメディアを活用するプロジェクト。

この事業を通じて全国の情報系子育て支援団体と連携し全国的な事業展開のための情報交換等を積極的に行っている。

企業コラボのイベントも継続的に開催している。

[日時] メルマガ：毎週水曜日他 情報紙：季刊発行、

[従事者人員] 15人  
[対象] 横浜市全域の子育て中の保護者  
[実績] 配信回数 52回(定期配信) 登録数約 3,700人  
          情報紙発行 68,000部(4・7・10・1月合計)  
          その他 親子イベント企画運営(4回、延べ6,500人参加)  
                  情報発信事業支援・ワークショップ開催(2回)  
[支出額] 3,431,233円(前年度 2,857,557円)

③ 高齢者等、異世代交流の推進等に関する事業  
    青少年事業を含む

④ 行政・企業・市民が協働するために必要な事業  
    ア ダブルケア事業  
       [内容] ダブルケア冊子の受付・販売・送付手続き、問合せ対応。  
       [従事者人員] 3名  
       [支出額] 39,971円

(2) その他の事業

① 広告にかかる事業  
    今年度実施事業なし

平成31・令和元・2019年度 活動計算書

(特定非営利活動に係る事業会計)

平成 31年 4月 1日 から 令和2年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人の名称	特定非営利活動法人シャーロックホームズ		
科 目	金 額		
<b>[経常収支の部]</b>			
<b>I 収入の部</b>			
1 会費・入金収入			
①正・準会費	273,000		
②賛助会費	0	273,000	
2 事業収入			
①親と子のつどいの広場に関する事業収入 利用料	1,339,950		
②子育て支援情報配信に関する事業収入	3,953,334		
③青少年育成に関する事業収入 相談料・利用料等	0		
④放課後児童健全育成に関する事業収入 参加料・おやつ代実費等	11,091,900		
⑤地域協働に関する事業収入	80,971		
		16,466,155	
3 補助金収入			
①親と子のつどいの広場(2施設)	14,487,588		
②横浜子育て情報スポット(あ・の・ね)	1,300,000		
③放課後キッズクラブ(4施設+上菅田笹の丘開設費)	75,697,000	91,484,588	
4 助成金等収入			
①神奈川県共同募金会(情報発信事業)	1,000,000		
②西区社会福祉協議会(つどいの広場:クリスマス会)	50,000		
③ 〃 (つどいの広場:サタデーシャーロック)	100,000	1,150,000	
5 寄付金収入	1,004,494	1,004,494	
6 預金利息収入	312	312	
7 雑収入	1	1	
8 繰入金収入 その他の事業会計からの繰入金収入	0	0	
<b>当期収入合計</b>			<b>110,378,550</b>

<b>II 支出の部</b>			
1 事業費			
①つどいの広場に関する事業			
人件費	9,787,027		
施設費	4,844,291		
光熱水費	274,953		
通信費	236,004		
事業費	861,623		
震災対策費	50,588	16,054,486	
②子育て情報配信に関する事業			
情報スポット運営費	1,300,000		
情報配信システム運営費	3,431,233	4,731,233	
③青少年健全育成に関する事業			
事業費	0	0	
④放課後児童健全育成に関する事業			
人件費	67,192,824		
事業費	2,793,451		
管理運営費	3,903,170		
児童処遇費	3,484,329		
法人本部経費	7,064,104		
補助金戻入	2,351,022	86,788,900	
⑤地域協働に関する事業			
ダブルケア事業	39,971	39,971	
事業費計			107,614,590
2 管理費			
人件費	197,857		
施設費	4,645		
広告宣伝費	14,187		
消耗品費等	20,738		
交際費	41,200		
慶弔費	5,000		
租税公課	74,500		
支払手数料	880		
諸会費	10,000		
固定資産除却損	6	369,013	
管理費計			369,013
<b>当期支出合計</b>			<b>107,983,603</b>
[その他資金収支の部]			
I その他資金収入			
その他資金収入計		0	
II その他資金支出			
その他資金支出計		0	
その他収支差額			0
<b>当期収支差額</b>			<b>2,394,947</b>
<b>前期繰越収支差額</b>			<b>7,593,811</b>
<b>次期繰越収支差額</b>			<b>9,988,758</b>
[正味財産増減の部]			
I 正味財産増加の部			
当期収支差額		2,394,947	
正味財産増加の部計			2,394,947
II 正味財産減少の部			
什器備品減少の部			
正味財産減少の部計		0	0
<b>当期正味財産増加額</b>			<b>2,394,947</b>
<b>前期繰越正味財産額</b>			<b>7,593,819</b>
<b>当期正味財産合計</b>			<b>9,988,766</b>

## 貸 借 対 照 表

(特定非営利活動に係る事業会計)

2020(令和2)年 3月 31日現在

特定非営利活動法人の名称		特定非営利活動法人シャーロックホームズ	
科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金	841,863		
預金	16,020,632		
未収金	364,260		
前払費用	1,226,068		
立替金	5,000		
仮払金	563		
<b>流動資産合計</b>		<b>18,458,386</b>	
<b>2 固定資産</b>			
ソフトウェア	2		
敷金	964,908		
<b>固定資産合計</b>		<b>964,910</b>	
<b>資産合計</b>			<b>19,423,296</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	8,108,249		
前受金	210,000		
預り金	1,116,281		
<b>流動負債合計</b>		<b>9,434,530</b>	
<b>負債合計</b>			<b>9,434,530</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
正味財産			9,988,766
(当期正味財産増加額)			2,394,947
<b>負債及び正味財産合計</b>			<b>19,423,296</b>

財 産 目 録

(特定非営利活動に係る事業会計)

2020(令和2)年 3月 31日現在

特定非営利活動法人の名称		特定非営利活動法人シャーロックホームズ		
科 目		金 額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	現金手許有高	841,863		
普通預金	横浜銀行反町支店	9,196,591		
	横浜銀行市庁支店	6,698,047		
	横浜銀行本店営業部	122,994		
	ゆうちょ銀行	3,000		
前払費用		1,226,068		
未収金	(事業収入)	364,260		
仮払金		563		
立替金		5,000		
	流動資産合計		18,458,386	
2 固定資産				
	ソフトウェア	2		
	敷金	964,908		
	固定資産合計		964,910	
	資産合計			19,423,296
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	(3月分の人件費・法人税・補助金戻入等)	8,108,249		
前受金	(次年度分の会費)	210,000		
預り金	(源泉所得税・社会保険等)	1,116,281		
	流動負債合計		9,434,530	
	負債合計			9,434,530
	正味財産			9,988,766